

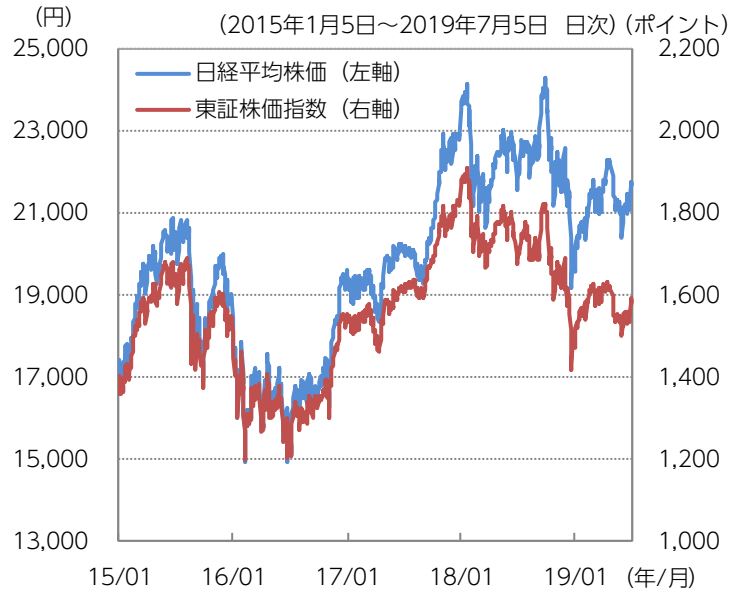
週間市場レポート

(2019年7月1日～7月5日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

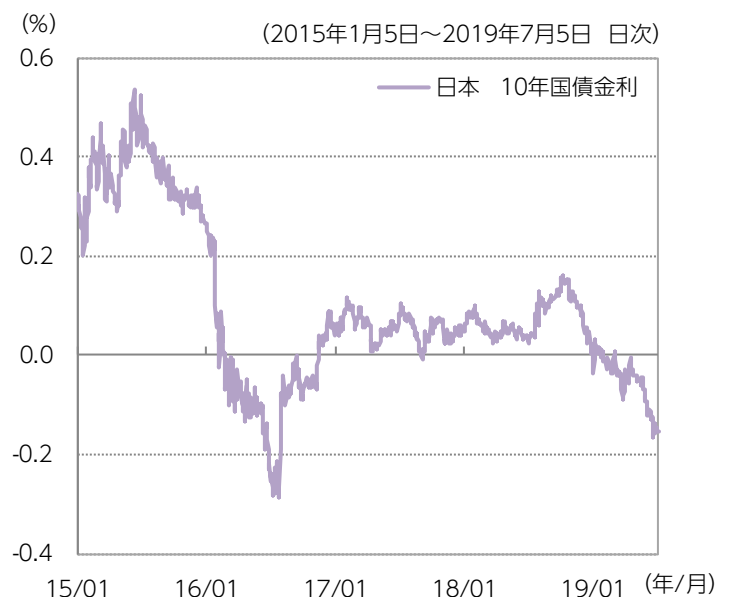
- 日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。米中首脳会談での貿易交渉の再開及び追加関税の延期という結果を受け、米中貿易摩擦の懸念後退等から大きく上昇し、週初はおよそ2か月ぶりの高値となりました。その後は、週末に公表される米雇用統計を控え様子見ムードの中、小幅な値動きとなりました（週末引け値：21,746.38円）。
- 週間では、日経平均株価は2.21%の上昇、東証株価指数は2.67%の上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。米中首脳会談の結果を受け、投資家の過度なリスク回避姿勢が和らいだことによる売りと、世界的な金利低下を受けた買いがきつ抗する展開となりました。（週末引け値：-0.155%）。
- 週間では、0.003%の上昇となりました。

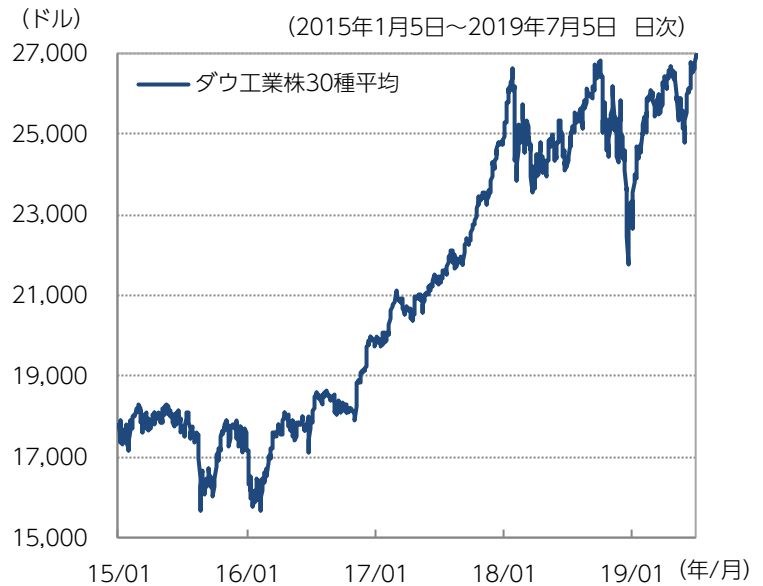


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。米中首脳会談が貿易交渉の再開及び追加関税の延期という結果となり、米中貿易摩擦の懸念後退等から週初から連日史上最高値を更新しました。週末は雇用統計を控え、様子見ムードのなか前日比では小幅に下落しました。（週末引け値：26,922.12ドル）。
- 週間ではNYダウは1.21%の上昇となりました。

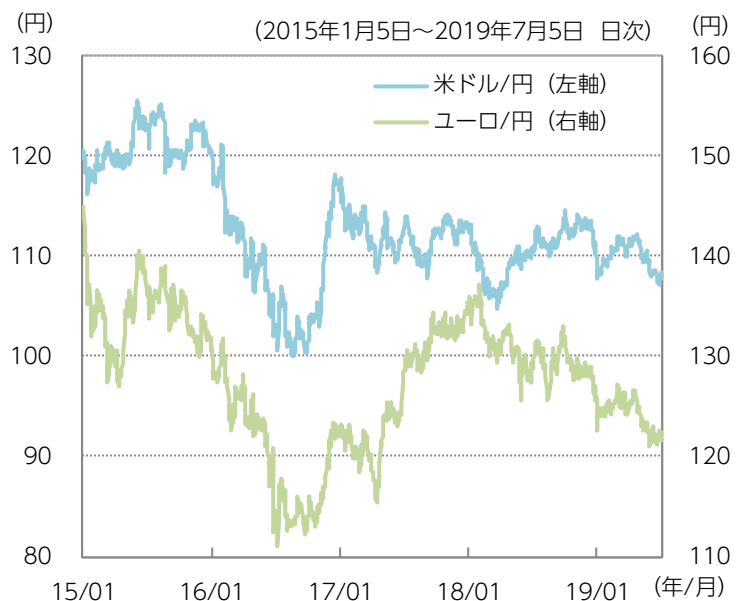


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。米中首脳会談を受け、米中貿易摩擦の懸念後退等から投資家の過度なリスク回避姿勢が和らぎ、円売り米ドル買いが優勢となりました。その後は、米国金利の低下を受け円高米ドル安となったものの、週末の米雇用統計を受け、大幅な利下げ観測が後退し円安米ドル高が進行しました（週末引け値：108円45銭～55銭）。
- 週間では米ドル/円は0.57%の円安、ユーロ/円は0.74%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>